

〔この図表の使いかた〕

この図表は、周波数と同調インダクタンスとキャパシティの積との関係を示す図表です。

図の左は周波数 1 [Mc] から 10 [Mc] まで、右は 10 [Mc] から 100 [Mc] までのノモグラフで、図の横軸は周波数 [Mc] 縦軸は、その周波数に同調するためのインダクタンス L [μH] とキャパシティ C [pF] の積です。

例 1 周波数 7 [Mc] でキャパシティ 42 [pF] のとき、同調インダクタンスはいくらか。

〔求めかた〕

周波数 7 [Mc] であるから、図 A で横軸 7 [Mc] と、指示線より $LC=517$ を得る。インダクタンス L は

$$L = \frac{517}{42} \doteq 12.3 \text{ } [\mu\text{H}]$$

例 2 50 [Mc] に同調するインダクタンス 0.65 [μH] のとき、同調キャパシティはいくらか。

〔求めかた〕

図 B の横軸 50 [Mc] より $LC=10$ を得る。よって

$$C = \frac{10}{0.65} \doteq 15.8 \text{ } [\text{pF}]$$

〔註・この図表のほんとうの使いかた〕

印刷の都合で、ログ・ログの細い線を入れられないので、皆さんが文具屋からログ・ログ用紙を購入し、それに指示線を書き入れて使ってください。工作中に正確に定数を求めるには便利な図表です。

なお、基準点のポイントは、図 B で周波数 10 [Mc] の点の LC が 253.3、100 [Mc] の点の LC が 2.533 となり、両点を直線で結んでください。図 A も B と同様に、位取りを変えて数字を記入すれば使用できます。

また、[1 Mc] 以下が必要な場合も図 A、B と同じ要領で作図できます。